

クルマの横でゴルフの打ちっぱなしができる新木部。リビングの延長上にクルマを飾れるスペースと考えて設計された。



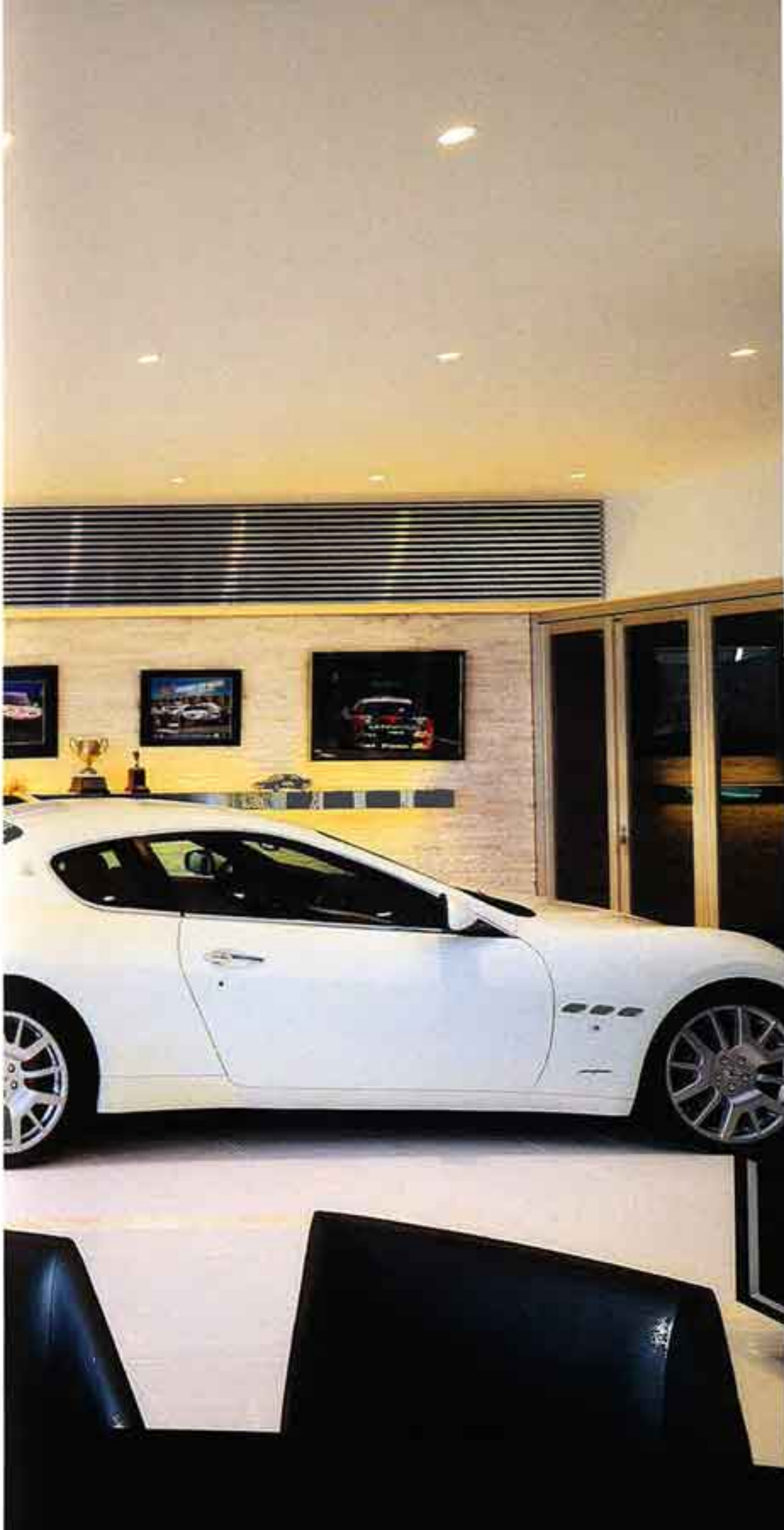
クルマ+ゴルフ+お酒
夢とロマンが詰まったガレージは
大きな居住空間として誕生した。

鈴木 邸 愛知県

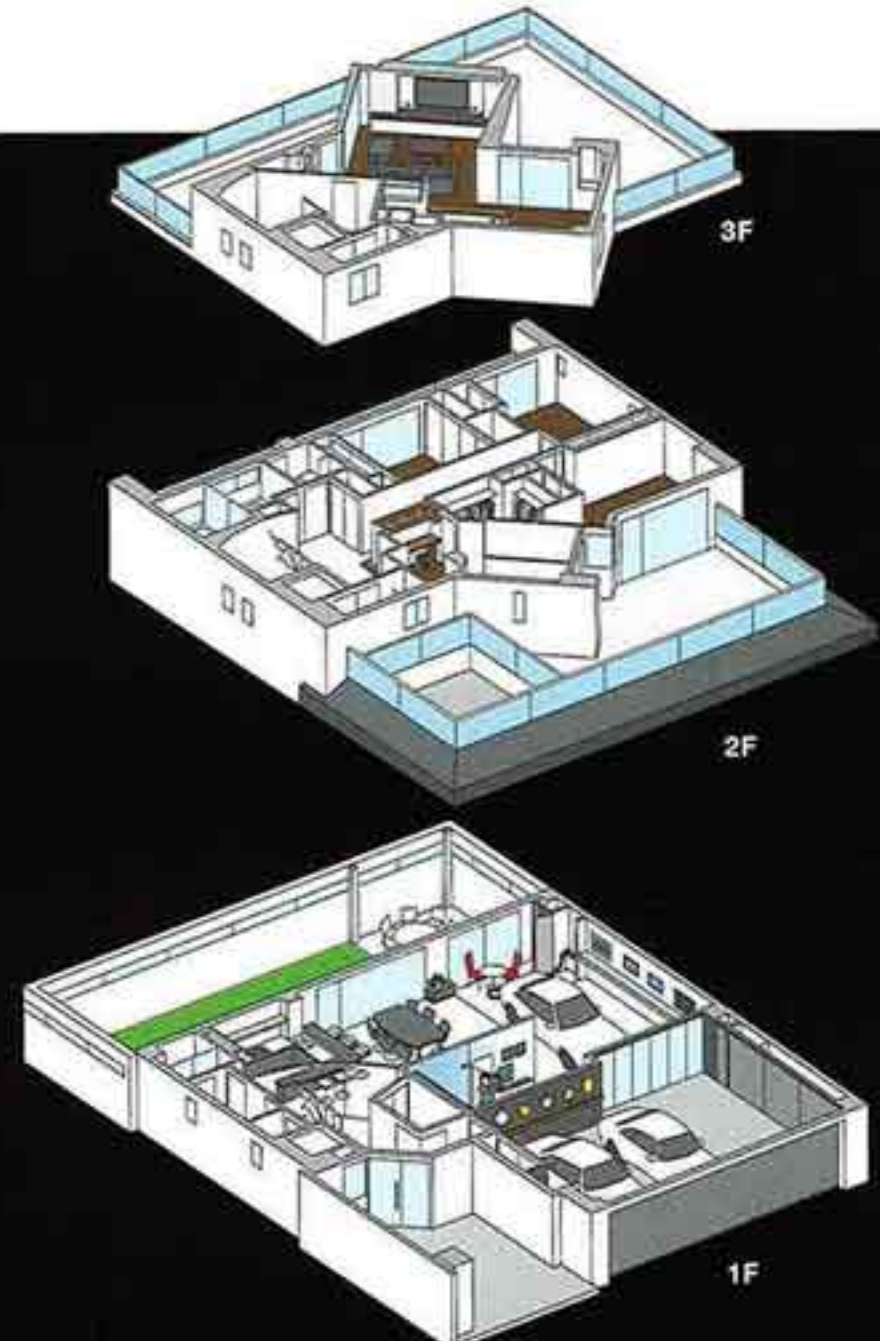
クルマ、ゴルフ、お酒。夢のような欲求だ。
男の夢とロマンをかなえるために、
建物に表現をし、具現化したのが建築家の技。
夢のようなスーパーガレージを覗いてみよう。

photo/Keigo-KIMURA(木村圭吾)
text/Jun-ISHIHARA(石原 淳)

TheGarage
PICKUP THE GARAGE



ガレージシャッターは三和シャッターの重差シャッターを採用。外観の壁面にはホワイトにアクセントとしてボルシェ・バナメーラの純正色とキャデラックの純正色をオーダーした。



パーティールームの床面にはイタリア製セラミックタイルを敷き詰め、床暖房を入れることで寒さ対策を施した。

ホワイトを基調としたパーティールーム。 テラスではバーベキューとバッティング。

'95年までGT300の監督を務めていた鈴木光彦さん。ドリーム28、ホンダカーズ東海のNSXといえばピンとくる読者もいるかもしれないだろう。鈴木さんが愛知県某所に新居を立て替え、4台のクルマが収納できるガレージには併設してゴルフ練習場、パター練習場、バーベキューができるスペース、そしてバーカウンターと鈴木氏が理想とするものをすべ

で詰め込んだ。その希望を形にしたのが名古屋にある「I.P.U. 建築計画」関戸隆久氏。クルマが大好きな鈴木氏にとっての要望はなんといってもリビングから延長したスペースにディスプレイした愛車。折れ戸によって仕切ったリビングの延長にもう1台愛機を入れクルマが眺められるように設計をしている。そしてだれもが気になるリビングに充

満する排気ガスは「セーフティライフ」が発売したばかりのEG WayOutによって室外に強制排除することでリビングのなかにクルマを入れるという大胆な設計を実現している。ガレージスペースは収納部分を大きくして、シンプルなガレージのデザインにしてクルマ3台が並列停められる。ゴルフが大好きな鈴木夫妻にとってはどうしても

The Garage
PICK UP THE GARAGE

左 / 友人とお酒を飲むスペースとしてバーカウンターを設置。キッチンには業務用の冷蔵庫と食洗機を導入。ドイツ製のTEKAのIHで調理もできる。
右 / 天然芝に近い転がりを再現できるアメリカ製プログリンを採用したテラス。三協立山アルミのMシェードはデザインから選んだ逸品。



なるべく収納庫を多くした鈴木邸。ガレージ壁面には「セーフティライフ」がオリジナルで製作したエンブレムが飾られる。

The Garage

PICKUP THE GARAGE

3台が並列で止められるガレージのほか、リビングに1台、玄関前にとクルマ中心の設計。

奥のパーティスペースとは別に、クルマ3台が入るガレージと1台のカースペースを確保。すべてTVカメラ付きのセキュリティで管理される。



左 / ガレージの右側には大きな収納を設置。ゴルフのセットから、掃除機までがすべて収納でき、ガレージには物が増えないように配慮、設計された。右 / 防音性、断熱性に優れたシステム製の折れ戸を採用することでガレージスペースとパーティスペースを区切った。



設置したかったのがゴルフコンボ。アメリカのスポーツビジョン・テクノロジー社が開発した解析機で飛距離から方向、ヘッドスピード、クラブの入射角などを分析でき、アメリカのPGAスクールでも導入されている本格的なマシンだ。1階のバルコニーにはアメリカで開発された人工芝・プログリーンにより本物のグラウンドにより近いバター練習場も設置。鈴木夫妻はホームコースであるセントクリークG.Cの親しい仲間とプレイを楽しんでおり、HCPは8と10とのこと。

ガレージ床面の仕上げは、モルタルの粉を練ってアメリカ製のシールハードを使用。耐摩耗性はコンクリートの約60倍の表面強化材。重量のあるクルマが往来するガレージには適していることで建築家の関戸さんが提案して採用している。クラック防止のため床面にスリットを設けるなど細かな工夫も施した。ガレージには水道も入れ、水とお湯が出せるように配管し、高圧洗浄機専用の蛇口を増設するなど細かなところも手をいれた。

リビングとの仕切りはシステム製の折れ戸を採用。断熱性に優れているほか、防音性にも優れている。「この戸を開けていれば、ガレージにクルマが帰ってきてても気が付かない」というほど静寂性を保ったガレージとなっている。また鈴木邸の動線は非常に考え抜かれた設計になっていることが分かる。玄関から1階のリビングを通過しなくてもガレージをとおれば靴を脱ぐことなくテラスにアクセスができる。つまり来客があっても気にすることなくガレージ、1階のバルコニーまでアクセスすることができ、ご主人の仲間がきても気軽に立ち寄れる環境となっている。

大理石でオーダーした、曲線美が美しい階段を上がると2階のスペースにはシンプルな設計。1階の



平面なのに視野が広く映るFFミラーを設置したことで、クルマの出し入れが楽になったという鈴木邸。建築家の提案により採用したのがFFミラーだ。

鈴木邸にどうしても採用したかった排気ダクトシステムEG-WAY OUT。「セーフティライフ」によりアタッチメントも導入している。



1 / 玄関を入り、まず目に飛び込んでくるのが曲線美が美しい階段。建築家により設計され、特別にオーダーしたものだ。2 / 3階のリビングはY字型で設計。高台に位置する鈴木邸からは、あらゆる方向の夜景を楽しむことができる。床面はシックな目地なしのヴェンゲ材を採用した。3 / 1階のパーティールームにも設置したトイレ、シャワーブースを設置。来客がきてもシャワーを浴びて帰る鈴木さんの配慮である。4 / 3階の階段からガレージを見下ろすとききれいな光が漏れてくるのが分かる。ライトは人感センサーによりライティングされる。5 / 1階の排気ダクトシステムは、使用しないときには壁面の収納に入れるように設計された。排気ダクトのパイプがすっぽり入ることでガレージを広く使うことができる。

P PLANNING DATA
 所在地 ● 愛知県
 施主 ● 鈴木光彦さん
 竣工 ● 2011年12月
 構造 ● 鉄骨造3階建て
 敷地面積 ● 98坪 (330.0㎡)
 ガレージ面積 ● 約100㎡
 愛車 ● 2008年マセラティ・グランツーリスモ
 2011年ボルシェ・パナメーラ
 2010年BMW740iL
 設計 ● 株式会社 I.P.U. 建築計画
 施工 ● アーキッシュギャラリー株式会社

O OWNER'S CHECK
 ■一番気に入っているところは？
 玄関に入って大好きなバーカウンターが見えるところ。
 ■ちょっと失敗したところは？
 2階のベランダテラスに高圧洗浄機専用の蛇口を設ければよかった。
 ■読者へのアドバイス！
 イメージを具現化できるかどうか大きく左右するので、好み合う建築家を慎重に選びましょう。

C COMMENT FROM A BUILDER
 株式会社 I.P.U. 建築計画
 関戸隆久さん

仕事・趣味、生活全てにおいて妥協をゆるさず探究心旺盛なオーナーからの依頼は、とても光栄なことでした。コンセプトからデザイン・機能性・ディテールに至るまで、綿密な打ち合わせを重ね、納得してもらえ居る居住空間を創ることができました。様々な機能を十分に満たしつつ、バランス良くデザインすることは、クルマ作りにも共通するところですね。クルマ好きな方にとって、ガレージはオーダーメイドの車以上に誇りが躍るオーナーの夢の形でもあるので、楽しみながら創ることが最も大切なことだと感じています。

名古屋東区泉1丁目21-35
 phone/052-955-3070
 info@ipu-ad.jp

The Garage

PICK UP THE GARAGE

イタリア製の部材を導入。 ホワイトを基調とした家づくり。

モダンなイメージから木目を多用した寝室が用意され、ベッドは6個。鈴木さんの昔から趣味である、アマチュア無線が楽しめる部屋が用意された。鈴木さんは1級無線技士の資格を持ち、全世界の友人とコンタクトした経験があるなど、多彩な趣味を楽しんでいる。最近こそ時間はないが、また余暇をみつけて楽しみたいと鈴木さんは語る。

3階はリビング。床材にはイタリア製床暖房対応ヴェンゲ材を使い夜景がきれいな高台の利点を活かしてキッチン、リビングは3階に。リビングのまわりにはバルコニーで囲まれ、どの位置からも景色が見えるように工夫がほどこされた。どの方向にも名古屋近郊の花火が見ることができると眺望は抜群である。またキッチンへの動線も考えられてドアを設けた

ほか、1階から3階まで今後のことも考えて個人用のエレベーターを導入するなど将来的なプランも視野に入れた設計となった。

設計したのは名古屋を中心に活動し、商業施設から個人宅まで手掛ける「I.P.U. 建築計画」関戸隆久さん。施工はアーキッシュ・ギャラリーで行われた。綿密な打ち合わせ後、1年半の歳月をかけて竣工された。その邸宅は男のロマンが詰まっている。クルマ、ゴルフ、そして友人を招いてのパーティとおもてなしを大事にした鈴木邸のプランニング。その細かなディテールはガレージの主を満足させるものとして竣工している。「I.P.U. 建築計画」と「アーキッシュ・ギャラリー」のコラボレーションにより完成したといえるだろう。

かつては全世界を相手に交信されていた、アマチュア無線界でも著名(JA2JYP)な鈴木さん。

